

江の川（下流）・高津川水害タイムライン 第1回検討会資料

アンケート結果を踏まえた江の川(下流)・高津川水害 タイムラインの見直し方針について

1. アンケート調査結果

調査概要

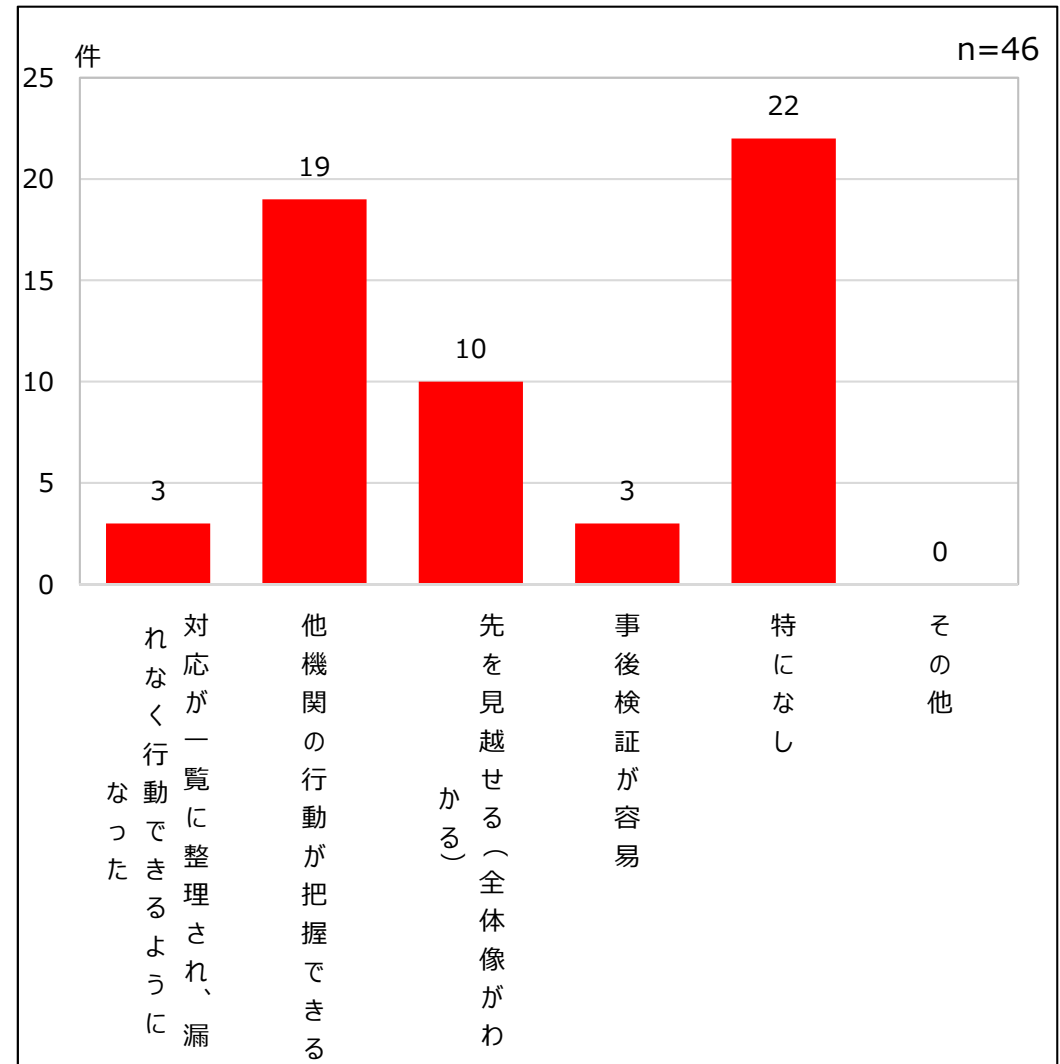
- 令和2年度出水期の実際のタイムラインの運用状況を踏まえて、より実効性のあるタイムラインとするために、活用状況や課題を確認するアンケート調査を実施した。

	概要
対象機関	全関係機関
実施期間	11/16（月）～11/27（金）
アンケート内容	①タイムラインの活用状況 ②タイムライン詳細版への意見 ③タイムライン運用方法への意見 ④タイムラインに関する情報収集の現状 等

アンケート調査結果（①タイムラインの活用状況）

○ タイムラインの運用により、これまでの洪水時の対応と変化したこととして、「他機関の行動が把握できる」、「先を見越せる（全体像がわかる）」と回答した機関が多く、タイムライン検討により、横の繋がりの構築や今後の災害対応の見通しに寄与している。

タイムラインの運用でこれまでの洪水時の対応と変化したことはありますか。 (複数回答)	
【選択肢】	回答
1 対応が一覧に整理され、漏れなく行動できるようになった	3
2 他機関の行動が把握できる	19
3 先を見越せる（全体像がわかる）	10
4 事後検証が容易	3
5 特になし	22
6 その他	0

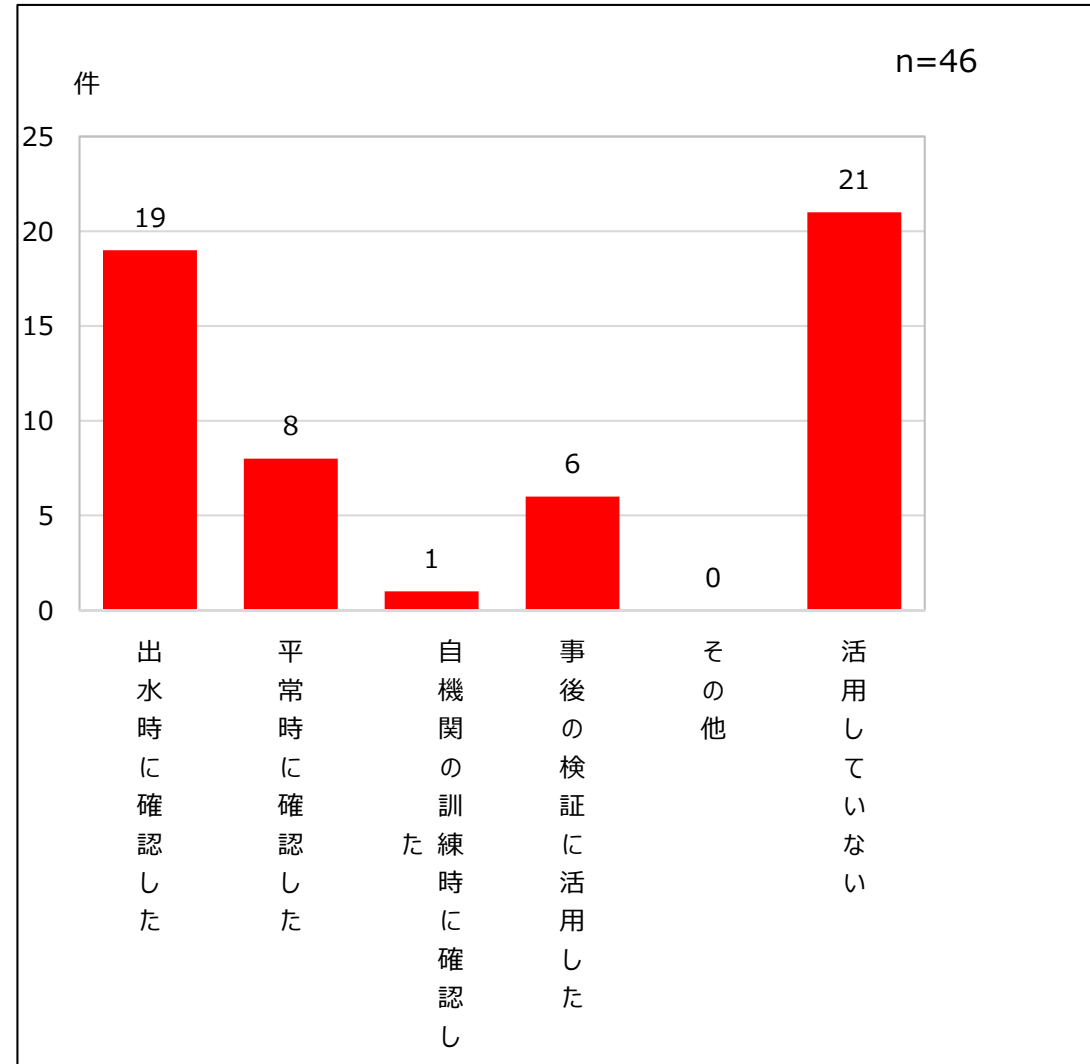


アンケート調査結果（①タイムラインの活用状況）

- 江の川（下流）・高津川では、7月9日の出水や7月13日の出水（令和2年7月豪雨）においてタイムラインを運用しており、「出水時に確認した」と回答した機関が19機関あった。
- その他、平常時や訓練時に確認した機関もあり、出水時だけでなく、平時からの準備にも活用されていた。

タイムラインの活用状況を教えてください（複数回答）。

【選択肢】	回答
1 出水時に確認した	19
2 平常時に確認した	8
3 自機関の訓練時に確認した	1
4 事後の検証に活用した	6
5 その他	0
6 活用していない	21

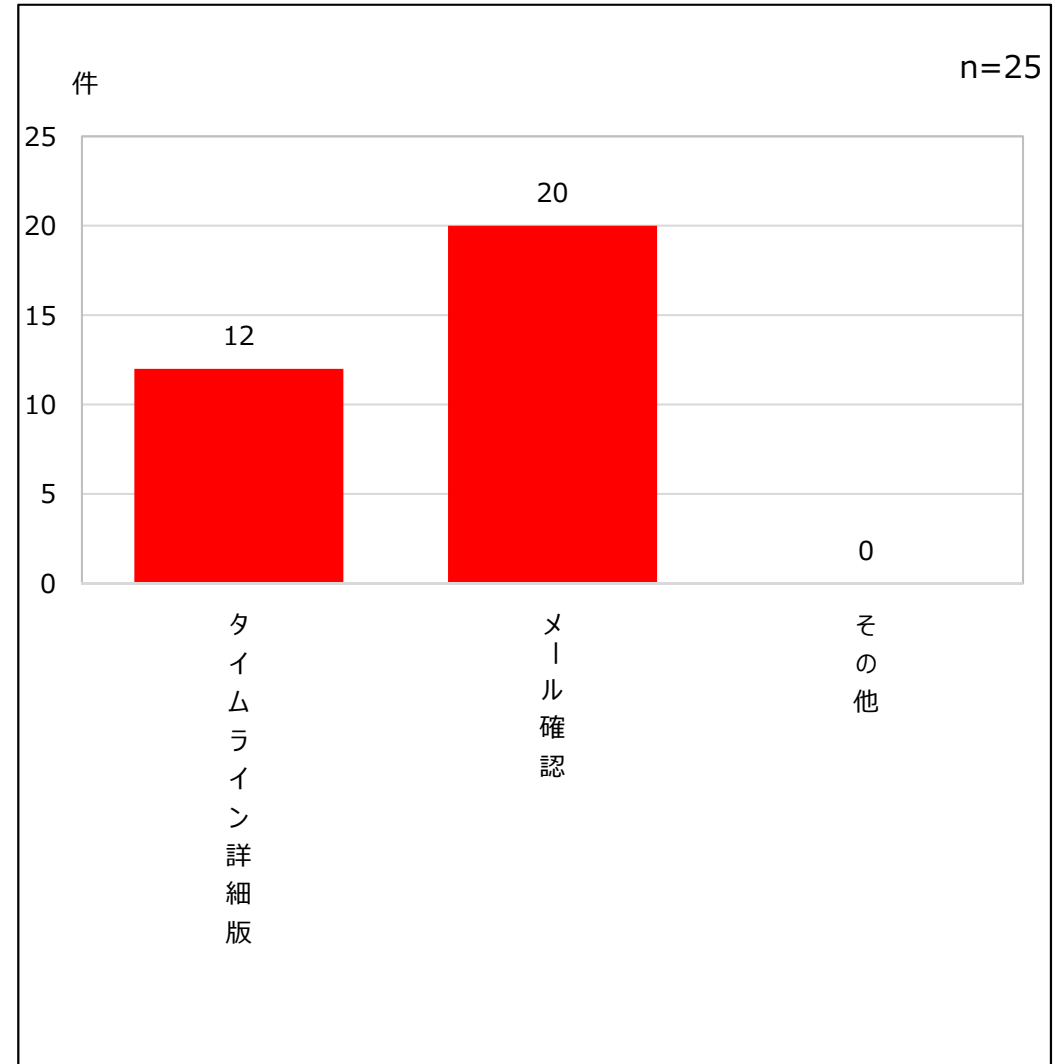


アンケート調査結果（①タイムラインの活用状況）

○ タイムラインの活用状況としては、タイムライン詳細版を活用した機関が12機関、メール確認による状況把握に活用した機関が20機関であった。

次のうち、活用したものを教えてください（複数回答）。

【選択肢】	回答
1 タイムライン詳細版	12
2 メール確認	20
3 その他	0



アンケート調査結果（①タイムラインの活用状況）

○ 一方で、活用していない主な理由としては、「独自のマニュアル（地域防災計画や災害対応計画書等）で対応したため」という理由が多かった。

次のうち、活用していない理由を教えてください（複数回答）。

【選択肢】	回答
1 タイムラインレベルの移行が早く活用する余裕がなかった	3
2 独自のマニュアル（地域防災計画や災害対応計画書等）で対応したため	16
3 その他	6

その他意見

災害時の対応でタイムラインの確認を行う時間がとれなかった。

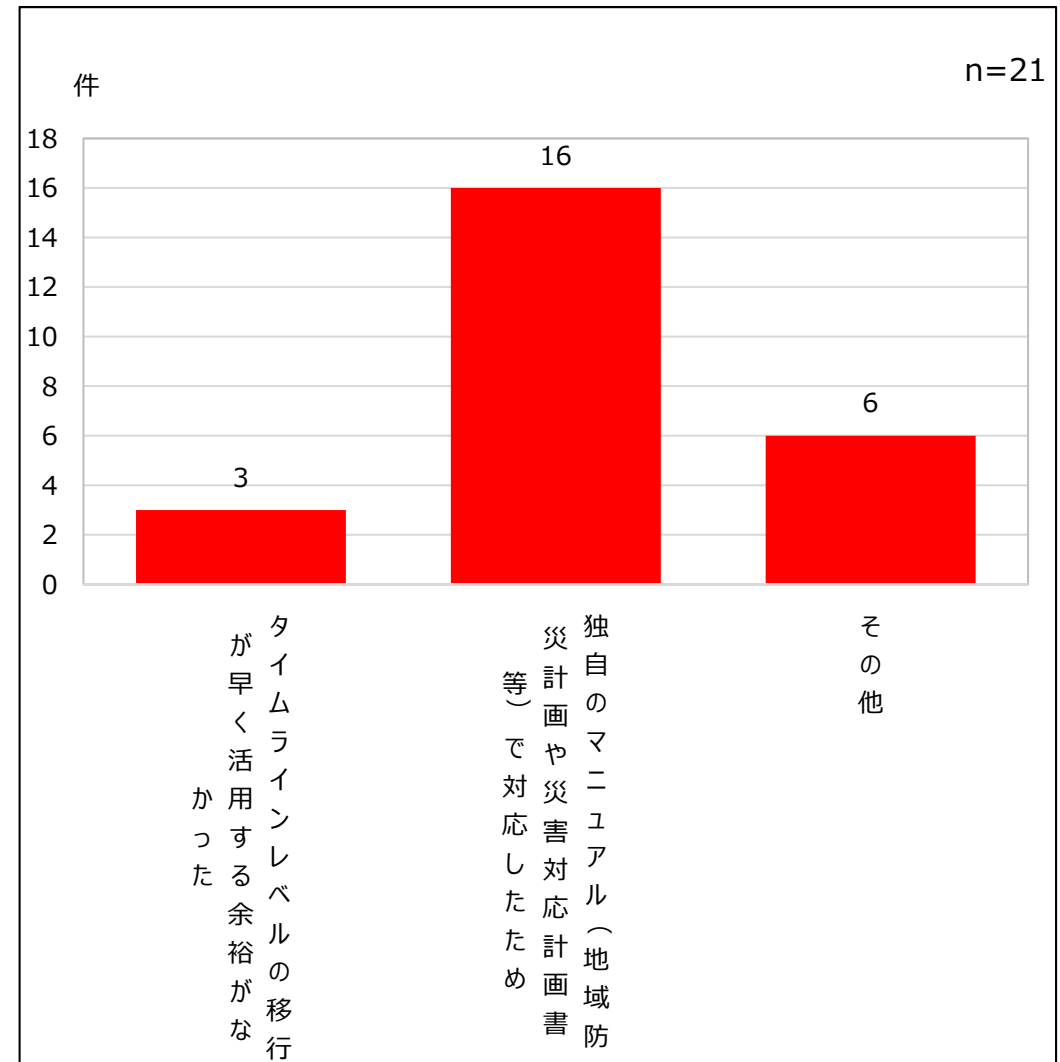
特に必要なかった

これまでの経験を元にした行動に慣れているためタイムライン活用への思いに至らなかった。

気象情報等の収集は常時行っているため

今シーズン活用していない。メール配信なし

質問②の回答と矛盾しますが、質問⑤の回答の関連で記載しています。タイムラインについては、事務局発信のメールによる水位状況に関して参考とさせていただきましたが、その他については、当社独自のマニュアルにより体制等をとっていました。

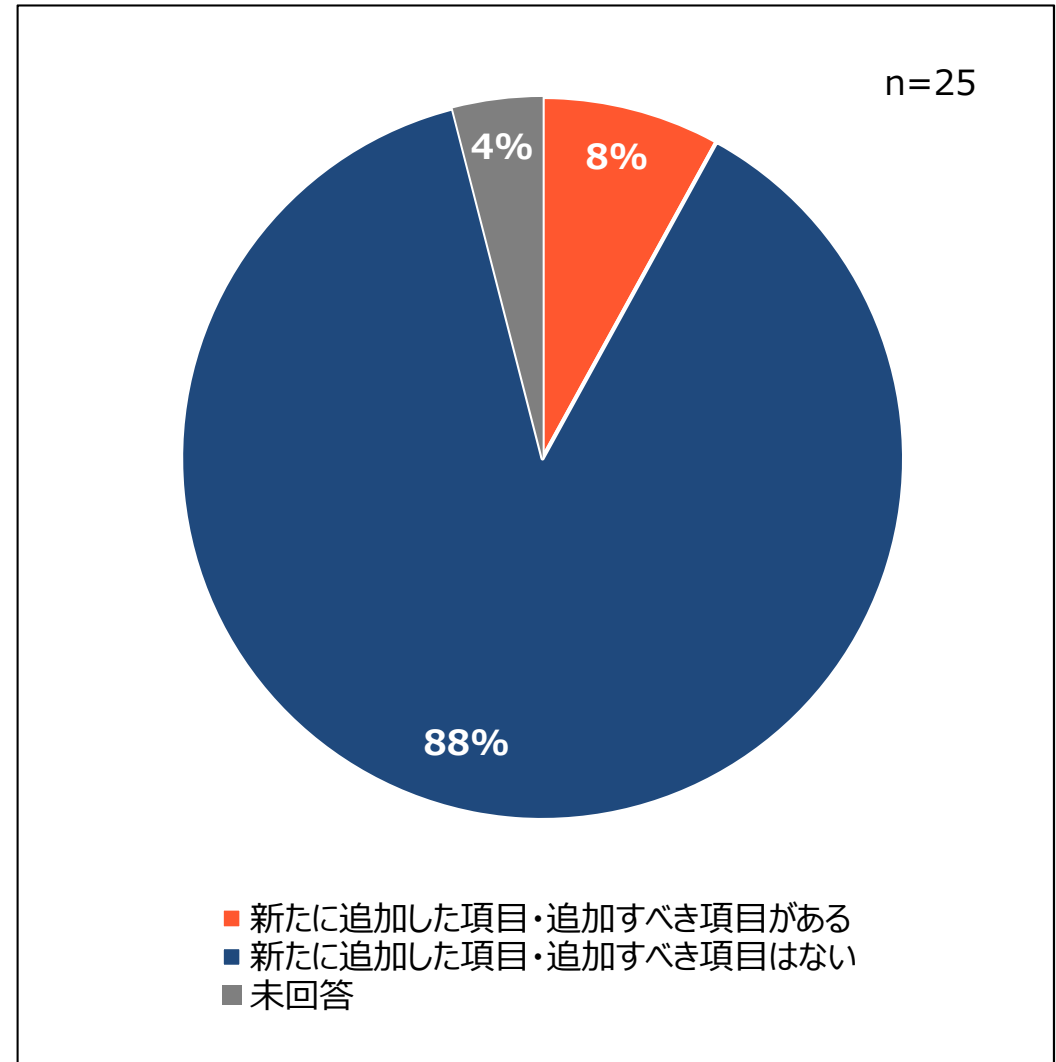


アンケート調査結果（②タイムライン詳細版への意見）

- タイムラインに、新たに追加した項目、または、追加すべき項目があった機関は、2 機関あった。
- この2 機関については個別にヒアリングを行ったうえで、必要に応じ、タイムラインの詳細版へ反映する。

タイムラインに、新たに追加した項目、または、追加すべき項目がありましたら教えてください

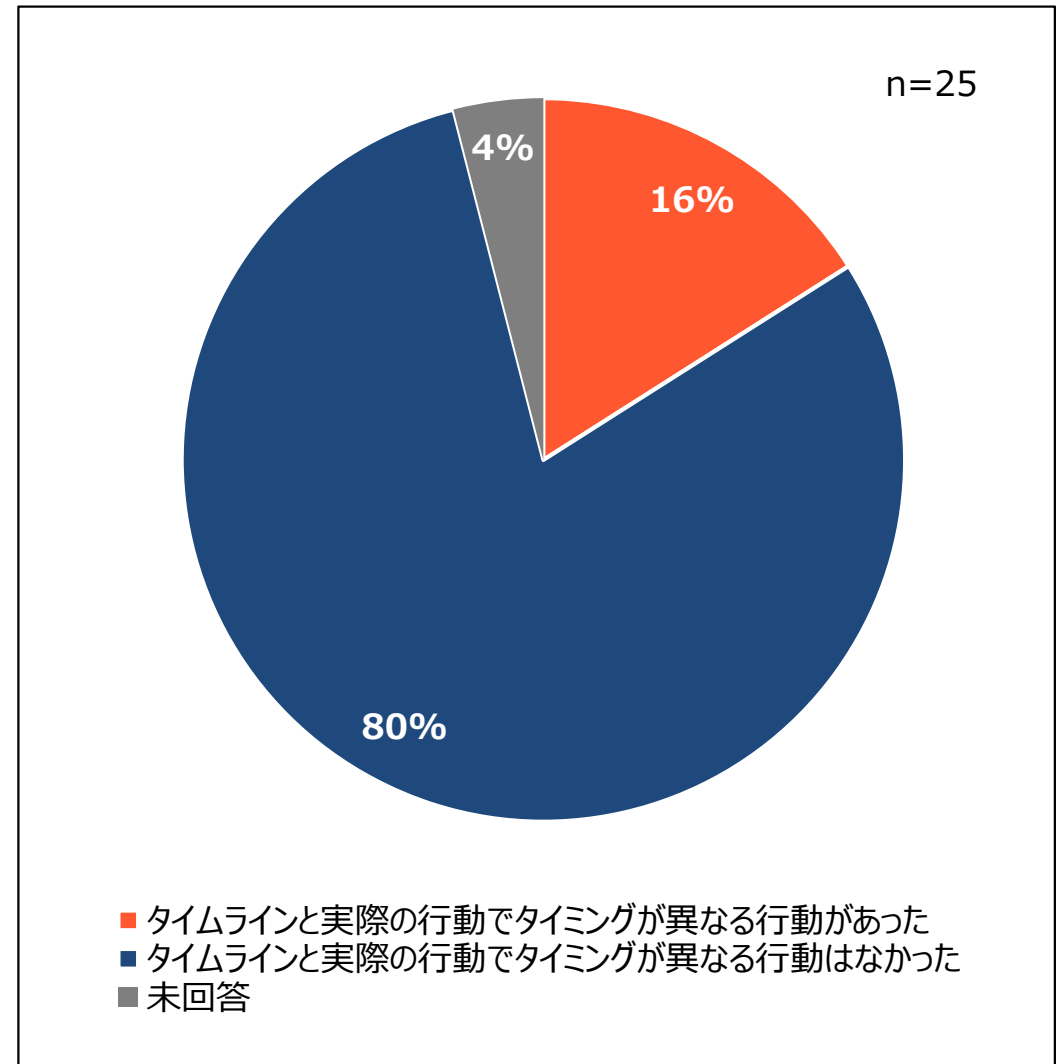
【選択肢】	回答
1 新たに追加した項目・追加すべき項目がある	2
2 新たに追加した項目・追加すべき項目はない	22
0 未回答	1



アンケート調査結果（②タイムライン詳細版への意見）

- タイムラインと実際の行動でタイミングが異なる行動があったと回答した機関も4機関あった。
- この4機関については個別にヒアリングを行ったうえで、タイムラインの詳細版への反映の必要性を確認する。

タイムラインと実際の行動でタイミングが異なる行動ありましたか。	
【選択肢】	回答
1 タイムラインと実際の行動でタイミングが異なる行動があった	4
2 タイムラインと実際の行動でタイミングが異なる行動はなかった	20
0 未回答	1



アンケート調査結果（②タイムライン詳細版への意見）

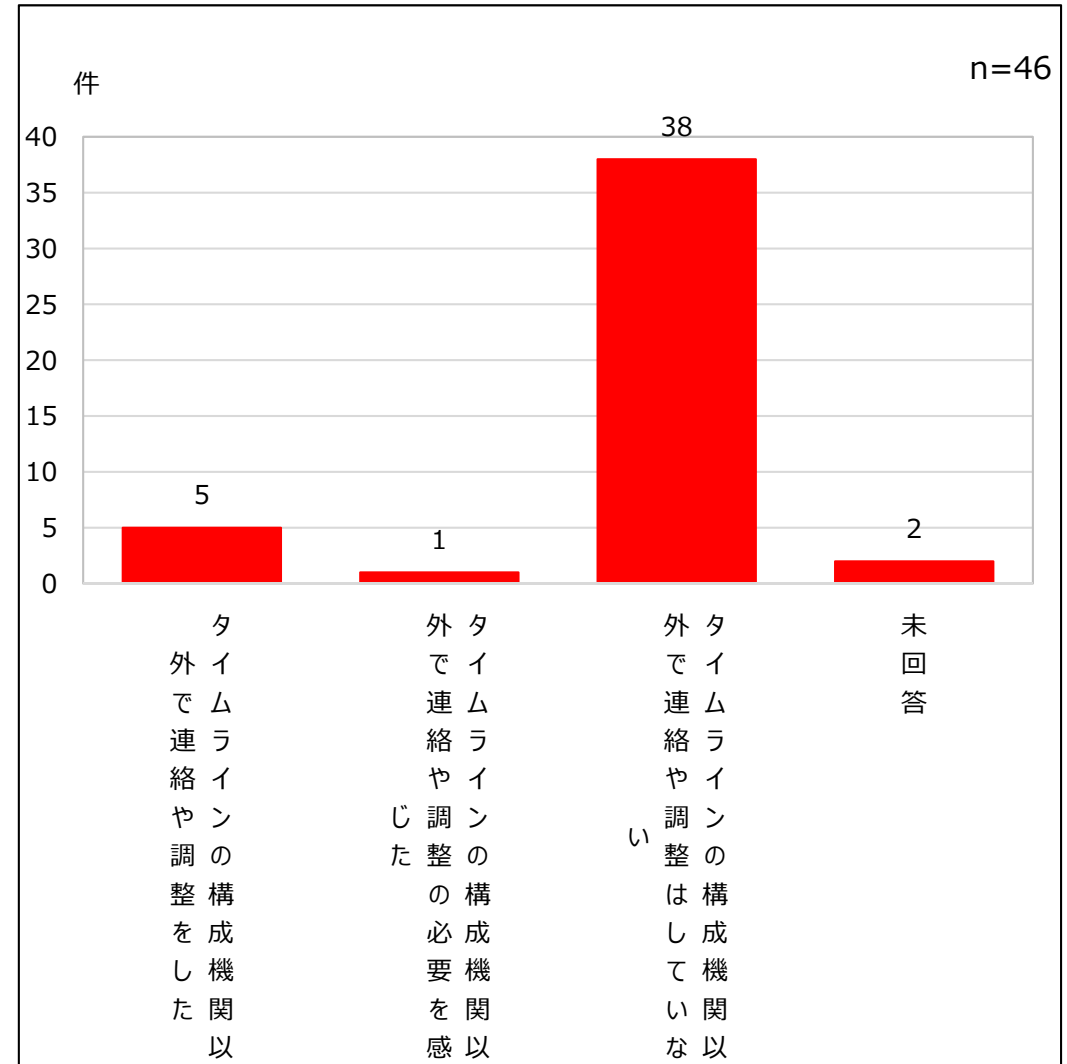
- タイムラインの構成機関以外で連絡や調整をした、又は、調整が必要と感じた機関として、海上保安庁や中国電力（山陰ネットワークセンター）、教育委員会等が挙げられた。

タイムラインの構成機関以外で連絡や調整をした、または、調整が必要と感じた機関がありましたら教えてください。（複数回答）。

【選択肢】	回答
1 タイムラインの構成機関以外で連絡や調整をした	5
2 タイムラインの構成機関以外で連絡や調整の必要を感じた	1
3 タイムラインの構成機関以外で連絡や調整はしていない	38
0 未回答	2

■ 構成機関以外で連絡や調整をした、又は、調整が必要と感じた機関

	調整・連絡先の機関名	内容
構成機関以外で連絡や調整をした	海上保安庁、自衛隊	ヘリコプターによる住民救助要請のため
	島根県庁	派遣要請受前の調整窓口
	海上保安庁	市役所災害対策本部にともに出向しており、情報共有等実施した。
	中国電力 山陽ネットワークセンタ	ケーブル修理に伴い、専用回線の借用対応を行う為。
	県・市教育委員会	被災時における児童・生徒の登下校に関する状況を確認するため
構成機関以外で連絡や調整の必要を感じた	島根県の河川管理箇所	益田駅が浸水するかどうかは益田川の状況にかかっているため



アンケート調査結果（②タイムライン詳細版への意見）

○ 令和2年7月豪雨のようなタイムラインレベルの移行（水位上昇）が速い洪水で、12機関は、タイムライン詳細版で対応可能であったが、一方で、29機関は、水位上昇の早い洪水では、最低限実施すべき項目だけを抽出したチェックリスト等が必要であった。

令和2年7月豪雨のようなタイムラインレベルの移行（水位上昇）が速い洪水で、タイムライン詳細版で行動確認は可能でしたか。※今回タイムラインを活用していない方は、同様の洪水が発生した場合を想定して回答してください。

【選択肢】	回答
1 タイムライン（詳細版）で対応可能	12
2 タイムライン（詳細版）では対応不可（最低限実施すべき項目だけを抽出したチェックリスト等が必要）	29
3 その他	4
0 未回答	1

その他意見

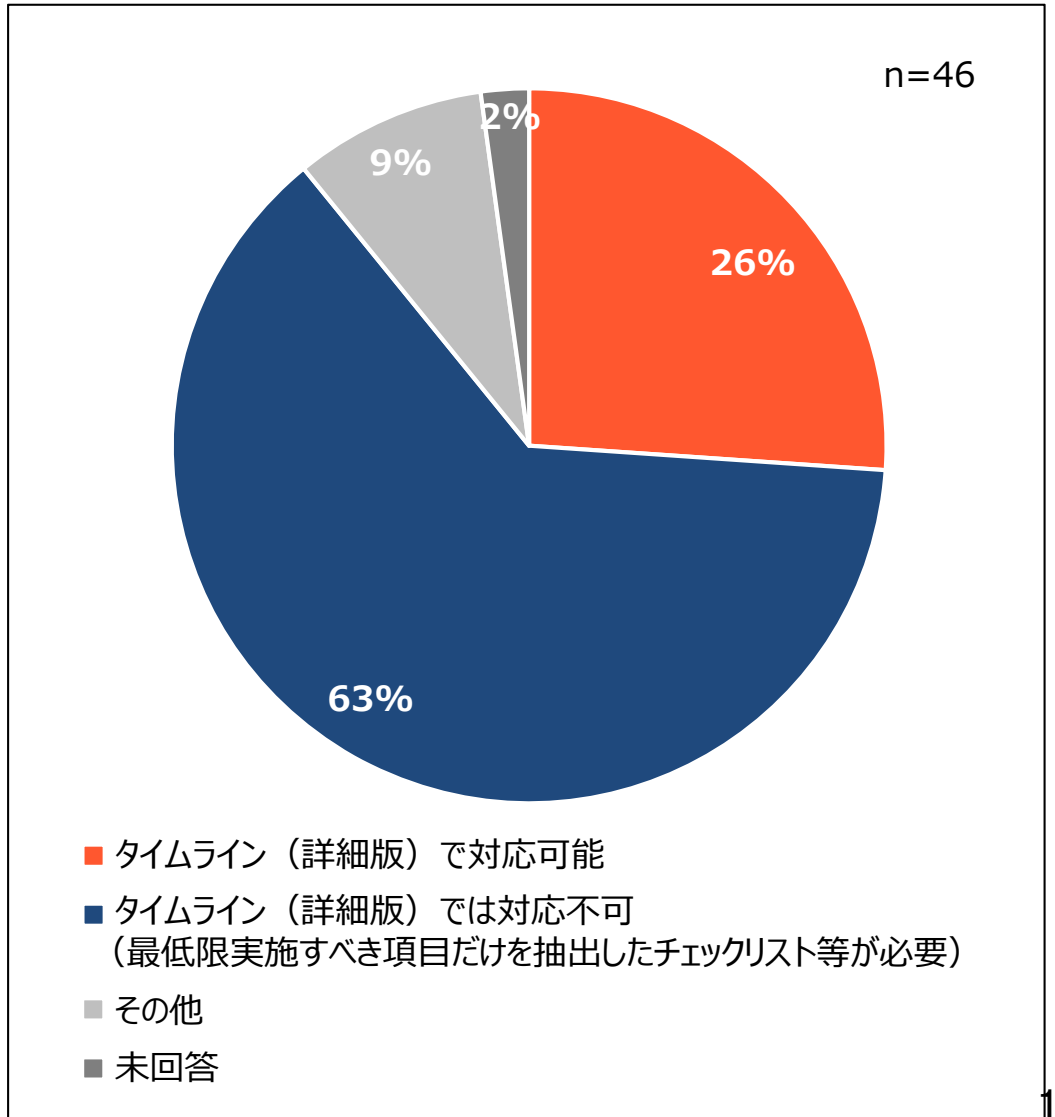
詳細版はすべての行動項目が網羅されており、当然ながら確認事項が多数あります。

凡庸ですが、今回のようにそれぞれで改善点を洗い出し、検討会に諮るべきと考えます。

対象区域より施設が上流にあるため

気象情報等の収集は常時行っているため

現段階では判断できない



アンケート調査結果（②タイムライン詳細版への意見）

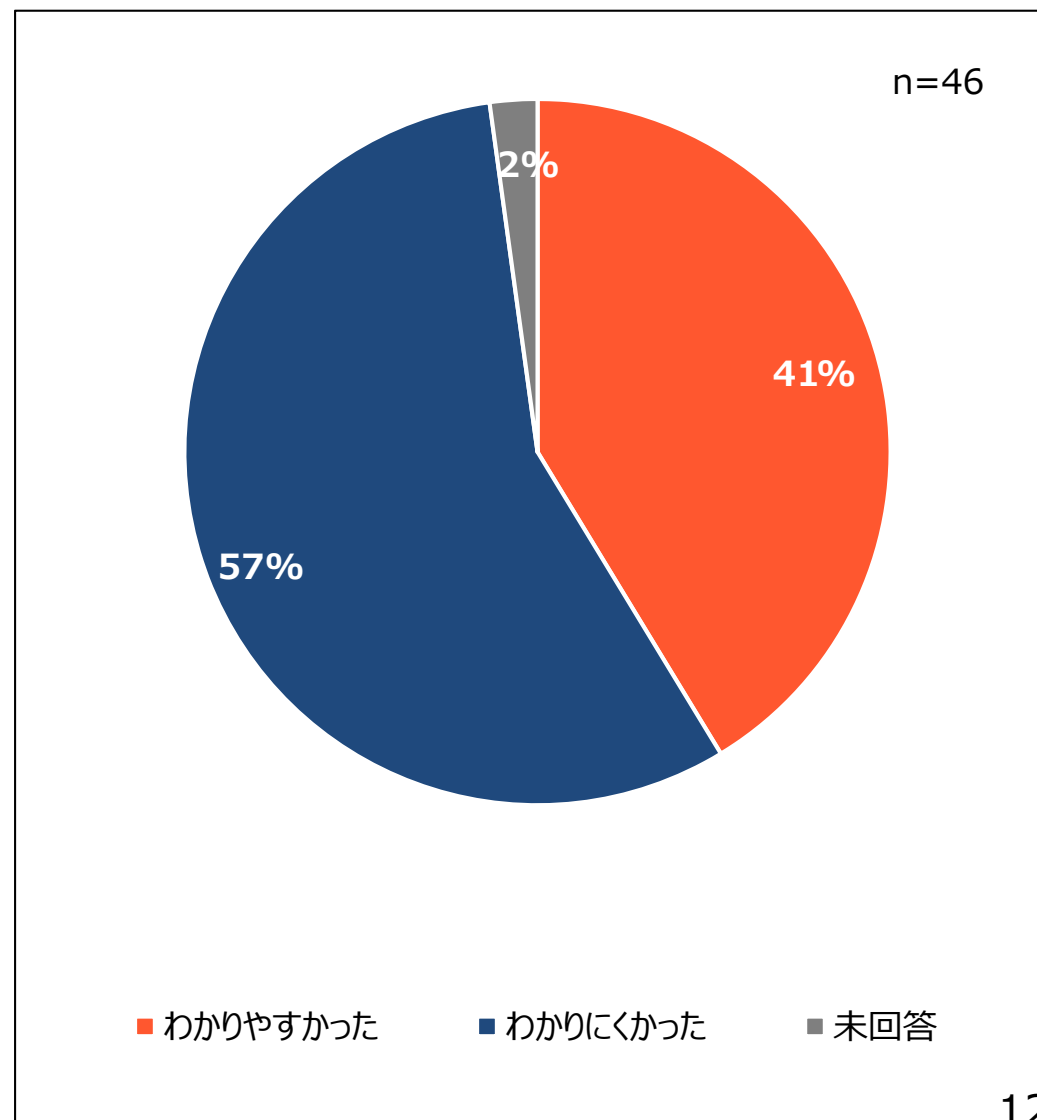
『タイムライン詳細版』について、何かご意見がありましたら、以下に記載をお願いします。

意見
<ul style="list-style-type: none">詳細版の特徴（総花的・網羅的）を十分踏まえたうえで、取るべき行動に優先順位をつけ、整理したクイックマニュアル版を各機関で用意すれば、より機能的なタイムラインになると考えます。
<ul style="list-style-type: none">平常時の訓練として、いつ、何をすべきかを確認するツールとしては有効だが、有事の際にはメールの確認よりもチェックリストとして活用するように準備しておくべきであると感じた。（印刷しておく等の事前準備）
<ul style="list-style-type: none">各種事案等に対応しなければならないため、詳細版を確認しながら事案対応することはない。
<ul style="list-style-type: none">詳細すぎて、自分の役割がわかりにくい
<ul style="list-style-type: none">関係機関それぞれが対応すべき内容については、特にありません
<ul style="list-style-type: none">チェックリスト的な簡略版があったほうが良いのではないかと感じました。（具体的に不自由した、ということはありませんでしたが）
<ul style="list-style-type: none">緊急時に詳細版と照らし合わせる作業は、やや困難であると感じています。アンケートにもありましたように、最低限実施すべき項目を抽出したチェックリストは必要ではないかと思えます。
<ul style="list-style-type: none">電子データ（完成版）がないため電子データでの配布をしていただきたい（関係する箇所を絞り込みたい）項目が多すぎて確認に時間がかかるため要点をもっと絞るべき。

アンケート調査結果（③タイムライン運用方法への意見）

- メーリングリストでのタイムラインの移行周知は、「わかりやすい」と回答した機関は、19機関、「わかりにくい」と回答した機関が26機関あった。

メーリングリストでのタイムラインの移行周知はわかりやすかったですか	
【選択肢】	回答
1 わかりやすかった	19
2 わかりにくかった	26
0 未回答	1



アンケート調査結果（③タイムライン運用方法への意見）

- メールでの移行周知がわかりにくかった理由としては、「メールに気づかなかった」と回答した機関が最も多い。
- その他にも、レベル移行や解除（解除か継続しているか）がわかりにくかったという意見も一定数あった。

次のうち、わかりにくかった理由で当てはまるものを教えてください。（複数回答）。

【選択肢】	回答
1 レベルの移行（引き上げ・引き下げ）がわかりにくかった	4
2 レベルの解除（解除か、継続しているのか）がわかりにくかった	5
3 メールに気づかなかった	16
4 その他	6

その他意見

梅雨前線による降雨の場合、タイムラインへの移行の判断はどういった判断でなされるのか客観的なものが明示されていないのでいきなり移行と言われても準備が出来ないのではないのでしょうか

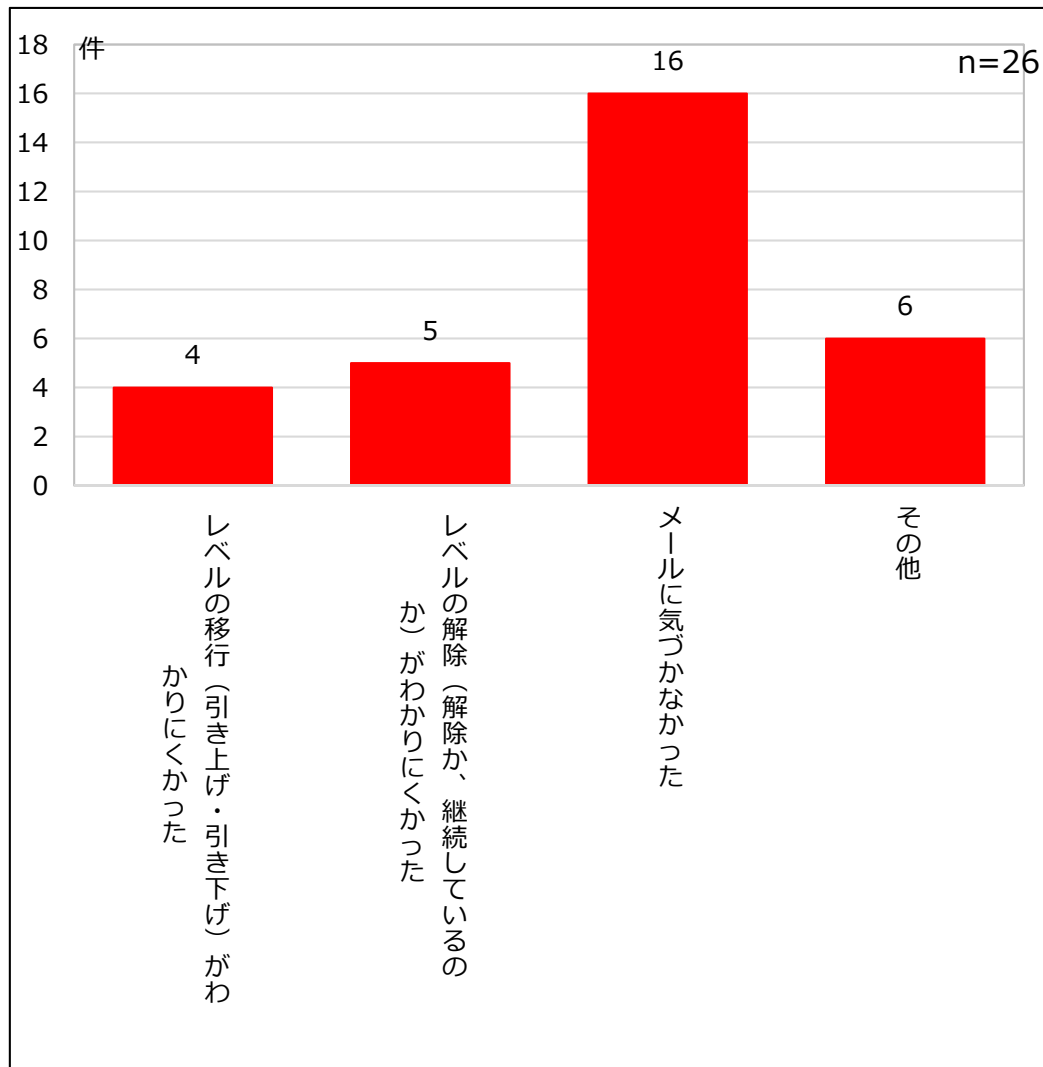
水防当番にタイムライン担当者が必ずしもいるわけではないことを踏まえた、事前の準備が不十分だった。（担当者宛だけのメールでは気付かないことがある）

出水時には、災害対応、情報収集及び情報整理に手を取られメールチェックが実施できなかった。

出水時には、災害対応、情報収集等で確認できなかった。

社内での災害対策本部等の情報等が膨大となり確認に時間がかかった。

水位の測定地点名が書かれていても、地理的な場所が判りづらく、支流への影響も把握しづらい。



アンケート調査結果（③タイムライン運用方法への意見）

『タイムライン運用方法』で改良すべき点があれば教えてください。

（例：タイムライン立ち上げのタイミングや解除のタイミングの基準を具体化したい。）

意見
<ul style="list-style-type: none"> 対象とする要因・現象の種類（台風・前線、洪水・浸水）により、トリガとすべきものが異なりますが、さらにヴァージョンを細分化すると混乱のもととなります。 どんな現象においても、最低限のフロー実施程度で、ほとんど機械的に立ち上げ・レベル移行ができるシンプルな基準が望ましいと考えます （相当の考察が必要と思われませんが、整理されれば構成機関側も展開把握が容易になります）。
<ul style="list-style-type: none"> 梅雨前線による降雨の場合、タイムラインへの移行の判断はどういった判断でなされるのか客観的なものが明示されていないのでいきなり移行と言われても準備が出来ないのではないのでしょうか？例えば尾関山の水位がいくらになったらとか？土師ダム・灰塚ダムの放流量がいくらになったらとか客観的な目安が必要と思われま。
<ul style="list-style-type: none"> 対象となる事象について、事前に明確な認識が必要と感じた。（急にレベル3から始まる理由等）
<ul style="list-style-type: none"> 人命救助などの業務に従事する機関は、それぞれの事案に対応しなければならないため、気象情報、水位の上昇に関する情報などが必要になる。気象に関する情報については、どのような情報を発信するのか、平時にサンプルを示していただき、その中で業務上、必要となる情報を絞らせてもらい適時送付してもらえれば業務の効率化が図られる。（重複のFAXは避けていただきたい。）
<ul style="list-style-type: none"> 7月14日に川本町内で江の川支流（三谷川）の氾濫により周辺地域が水没しましたが、弊社の現地社員から連絡が入るまで判りませんでした。設問の⑫項との関連にもなりますが、水位測定地点と水位だけの連絡ではなく、その水位から影響を受ける支流の状況や氾濫恐れ情報も入手できると、より良いものになると思います。
<ul style="list-style-type: none"> 現時点はありません。今後運用していった徐々に改善していけば良いのでは？と考えています。
<ul style="list-style-type: none"> メーリングリストはレベルの移行の確認に役立ったが、タイムラインについては運用面で十分に活用できていない。現在、市が持つ運用の流れに従って災害対応しているところだが、災害対応に忙殺されタイムラインの活用まで至らないのが現状である。
<ul style="list-style-type: none"> タイムライン立ち上げ（予定を含む、緊急時は除く）時のメール発出を平日 17時までに行うと、メールが送信されてくるのが前もってわかる

アンケート調査結果（④タイムラインに関する情報収集の現状）

- タイムラインに関する情報は問題なく収集できたと回答した機関が33機関あった。
- 一方で、道路情報や浸水情報などリアルタイムの情報の把握に苦慮している意見も挙げられた。

タイムラインに関する情報（例：水位、雨量、気象情報）は、問題なく収集することはできましたか。※今回タイムラインを活用していない方は、同様の洪水が発生した場合を想定して回答してください。

【選択肢】	回答
1 問題なく収集できた	33
2 収集できなかった（収集すべき情報がわからなかった）	8
3 収集できなかった（時間が無かった）	1
4 その他	4

その他意見

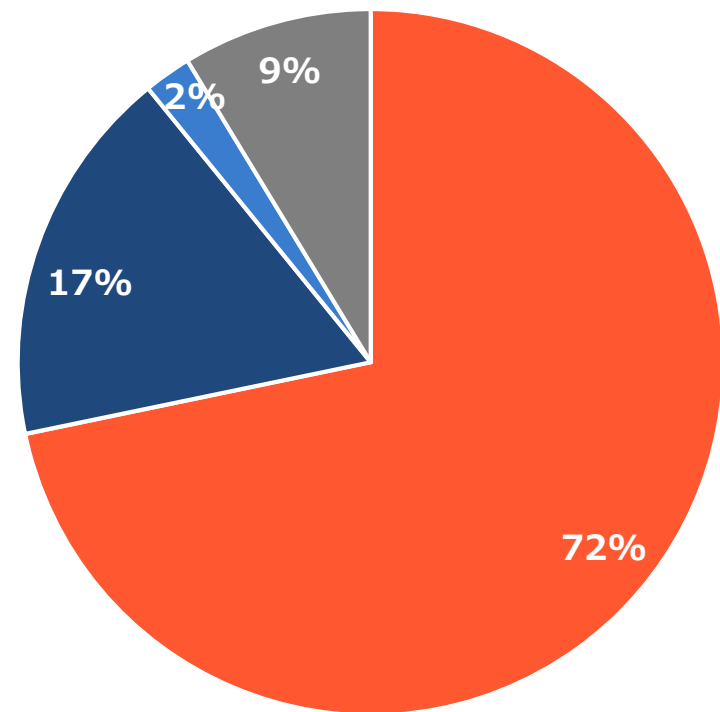
部外機関の水位・雨量情報は、業務の範疇として常に把握しています。

下流の浸水状況がわかったのはテレビ報道であった。

浸水、冠水による道路通行規制情報をリアルタイムに入手することに苦慮した。

FAXが重複していた（国交省と県央県土）後日、県央県土へ申し入れ済み

中国電力(株)浜原ダム、三次市江の川ダム地点の流入量は、電話しないとわからないので手間がかかる



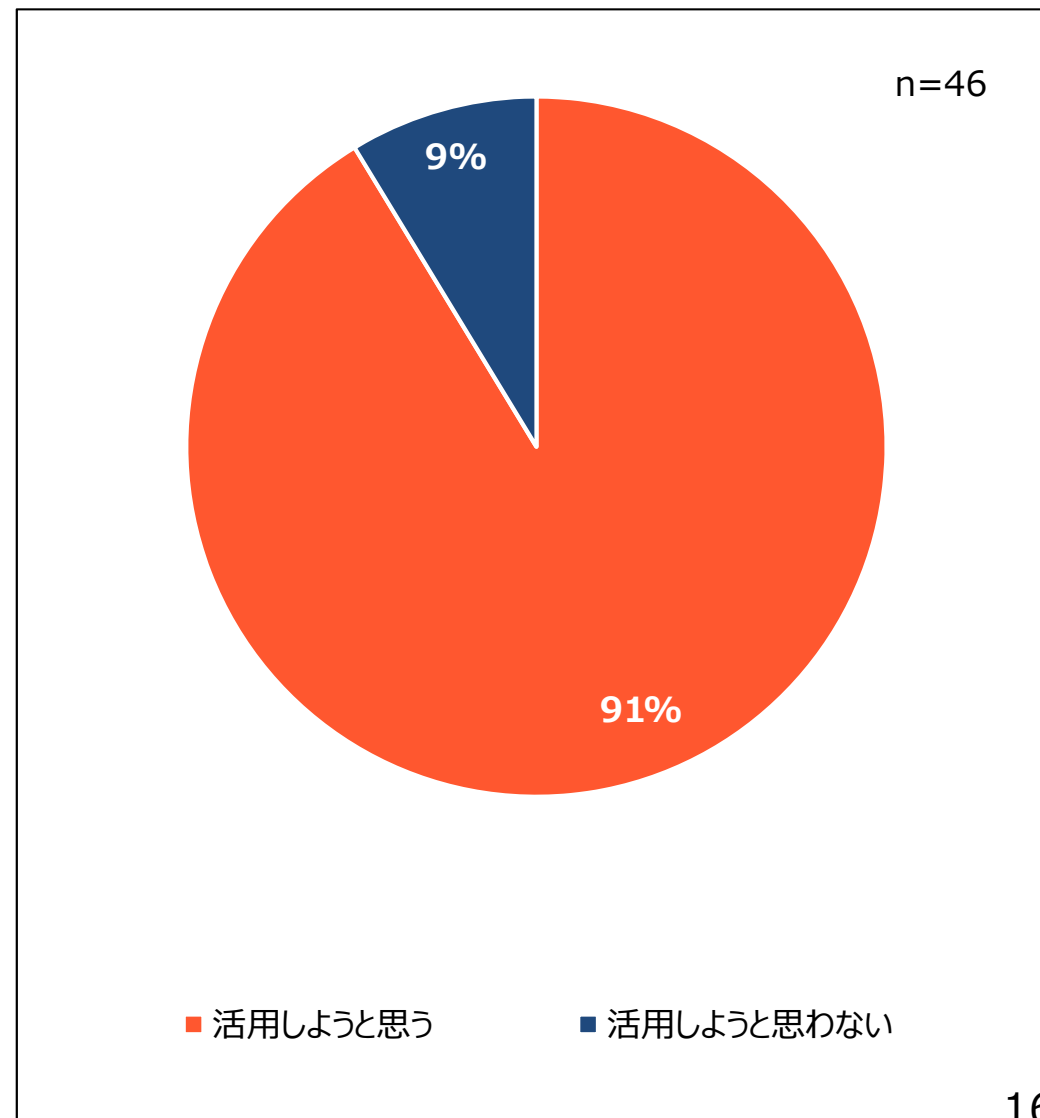
- 問題なく収集できた
- 収集できなかった（収集すべき情報がわからなかった）
- 収集できなかった（時間が無かった）
- その他

アンケート調査結果（④タイムラインに関する情報収集の現状）

- タイムラインに関する情報を収集・確認できるwebサイト等があれば活用したいという回答が42機関あった。
- 現時点でも、必要な情報は収集・確認できるもののタイムラインに関する情報が一元的に確認できることへの要望が大きいと想定される。

タイムラインに関する情報（例：水位、雨量、気象情報、レベル等）を収集・確認できるwebサイト等があった場合、活用しようと思いますか。

【選択肢】	回答
1 活用しようと思う	42
2 活用しようと思わない	4



アンケート調査結果（④タイムラインに関する情報収集の現状）

その他、何かご意見がありましたら教えてください。

意見
• 完成時点では存在しなかった「洪水予報（臨時）」や「治水協定に基づくダム事前放流」について、盛り込むべきと考えます（設問④関連）。
• 豪雨災害後に国交省が発表された江の川の決壊箇所については、今後の避難誘導など人的被害の未然防止対策に活用したいので、場所が分かる資料をカラー印刷の上、配布していただきたい。（理由：HPの紹介を受けたが、検索が上手くできず、またカラー印刷ができないため）
• 令和2年7月のような実出水時には、具体的な水害情報（時刻、エリア、規模等）の発信・共有できる仕組みがあれば、先取り行動、安全高度が一層向上するものと考えます。
• 河川流域（上流域、中流域、下流域）の雨量、河川の水位、中国電力(株)浜原ダムの放流量・三次市江の川ダム地点の流入量などの一括した情報と予測の提供をして欲しい。
• 流域を幾つかの区間に区切り、区間毎にレベル移行することはできないでしょうか？ （現状では一部の水位情報から全域のレベルが移行しており、移行後の情報はレベルが変化するまで入って来ない。）
• 江の川はレベル5（堤防決壊）までいったと記憶していますが、昔の桜江町が被害を被って、江津駅のところは何も影響が出ませんでした。こういうのは珍しいことかと思いますが、狼少年みたいにならないか？と危惧しました（誰もタイムラインを信用しなくなる）。
• タイムラインメール送付リストに防災対策室を追加していただければありがたいです。
• 今後タイムラインの活用を意識した対応を試み有効性を検証してみたいと思います。
• タイムライン対象区間が国土交通省直轄区間であり、西部水力センターとして高津川水系に対象設備がなく、役割に関する対応が発生しないため、役割構成の検討をお願いします。（除外でも良いと思う。）
• 水位（非接触型水系を含め）が確認できるサイトを一元化すべき。
• 事務局から発信されるメールによる水位状況等については、参考とさせていただいております。
• 土、日、祝日、夜間については、メール通知を確認することが困難となり、事後確認となる。但し、事後検証に関しては活用できる

2. アンケート意見を踏まえたタイムラインの見直し方針

アンケート意見等

江の川（下流）水害タイムライン修正方針

タイムライン詳細版

- タイムラインの行動で、修正すべき行動がある（2機関）。タイムラインと実際の行動でタイミングが異なる行動があった（4機関）。
- 構成機関以外で連絡や調整をした、又は、調整が必要と感じた機関がある（6機関）。完成時点では存在しなかった「洪水予報（臨時）」や「治水協定に基づくダム事前放流」について、盛り込むべきとの意見がある。
- 令和2年7月豪雨のような洪水では、行動項目の多いタイムライン詳細版での対応は困難(煩雑)である（29機関）。
- 複数機関から必要最低限の行動項目を記載した簡易的なチェックリストの必要性が自由意見でも挙げられている。

- タイムラインの行動項目に追加・修正があると回答した機関や実際の行動とタイミングが異なる行動があったと回答した機関の行動項目や実施するタイミングを修正する。
- 令和元年度検討会時点では、なかった行動を追加する。
(例：洪水予報（臨時）の発表、事前放流の実施、消防団からの現場情報の提供（市⇒国）等）

- 最低限実施すべき項目だけを抽出した分かりやすい簡易版等の作成を検討する。

運用方法

- タイムラインレベル移行の周知がわかりにくい（26機関）。
⇒そのうち、メールに気が付かなかったという意見が多い（16機関）
⇒梅雨前線による降雨の場合のタイムライン立ち上げやレベル移行が明示されていない
その他にも、レベルの解除（解除か、継続しているのか）がわかりにくいという意見も挙げられている

- タイムライン立ち上げや移行、解除の基準について、出水期前の検討会で再確認する。また、梅雨前線によるタイムラインの立ち上げや解除等の際に送信されるメール文案についても、出水期前の検討会などで事前に共有する。
※メーリングリストに追加希望があるため、リストも更新する

その他

- タイムラインに関する情報を収集・確認できるwebサイト等があれば活用したいと回答した機関が42機関ある
- 水位を確認できるサイトを一元化すべきとの意見も挙げられている。

- メール配信に頼らず関係機関がタイムラインに関する情報や状況を確認できるように、水位情報などの情報を一元的に集約したサイト等を検討する。

簡易版タイムラインの作成について

■ 「令和2年7月豪雨のような洪水では、行動項目の多いタイムライン詳細版での対応は困難(煩雑)である。必要最低限の行動項目を記載した簡易的なチェックリストが必要である」等の意見を踏まえ、行動の漏れがないかを俯瞰的に確認するために、詳細版に記載されている項目のうち、◎(主体的な行動、情報の発信)となっている行動(下図①)の第2階層を抽出した(下図②)簡易版タイムラインを検討します。

詳細版		防災行動項目		実施状況チェック欄		松江地方気象台	
目標：早期避難(外水) 警戒レベル3 警戒レベル移行の参考情報：洪水レベル移行のトリガー：台風情報、翌日までの早期注意情報(警報級(大雨)の可能性)							
No.	第1階層	第2階層	第3階層	開始時刻	終了時刻		
323	情報の収集	洪水予報 氾濫警戒情報(避難判断水位) (江津市 谷津郷水位観測所 江津市 川平水位観測所 川本町 川本水位観測所 美郷町 都賀水位観測所 色南町 大津水位観測所)	水位予報(1時間毎)の確認(氾濫警戒)			◎	
324			雨量予報の確認			◎	
325			洪水予報に関する協議			◎	
326			関係機関へ洪水予報(氾濫警戒情報)の発表(江の川)			◎	
327	タイムライン内部会議	タイムライン内部会議の実施	タイムラインレベル移行のための情報収集			◎	
328			タイムラインレベルの移行検討			◎	
329			関係機関へタイムラインレベル移行の周知			◎	
330	体制の構築	機関内防災体制の確認				◎	
331			警防指揮本部の設置			◎	
332			職員の召集			◎	
333			保守要員の確保			◎	
334		リエゾン体制の確認	リエゾン派遣			◎	
335			リエゾン受入れ			◎	
336		防災エキスパート等の要請				◎	
337		支所機能の移転	支所・出張所機能移転準備			◎	

簡易版		警戒レベル移行の参考情報		分類		松江地方気象台		浜田河川国道事務所		浜田河川国道事務所(道路)	
ル	のトリガ	参考情報	目標：早期避難(外水) 洪水警報、洪水警報の危険度分布(警戒)	タイムライン階層	組織体制	タイムラインレベル移行	タイムラインのレベル移行	タイムラインレベル移行	タイムラインレベル移行	タイムラインレベル移行	タイムラインレベル移行
1	台風情報、翌日までの早期注意情報(警報級(大雨)の可能性)	目標：早期避難(外水) 洪水警報、洪水警報の危険度分布(警戒)		タイムラインレベル移行	組織体制	①リエゾン体制の確認	①タイムライン内部会議の実施	①リエゾン体制の確認	①リエゾン体制の確認	①リエゾン体制の確認	①
2				伝達・広報	伝達・広報	⑥台風シナリオの確認 ⑥[元]気象・台風情報の収集 ⑥[元]気象注意報・警報の収集 ⑥[元]雨量・水位情報の収集 ⑥道路交通情報の収集	⑥気象・台風情報の収集 ⑥[元]気象注意報・警報の収集 ⑥[元]雨量・水位情報の収集 ⑥道路交通情報の収集	⑥気象・台風情報の収集 ⑥気象注意報・警報の収集 ⑥雨量・水位情報の収集 ⑥[元]道路交通情報の収集	⑥気象・台風情報の収集 ⑥気象注意報・警報の収集 ⑥雨量・水位情報の収集 ⑥[元]道路交通情報の収集	⑥気象・台風情報の収集 ⑥気象注意報・警報の収集 ⑥雨量・水位情報の収集 ⑥[元]道路交通情報の収集	⑥ ⑥ ⑥ ⑥
3				伝達・広報	伝達・広報	⑥ライフライン供給状況の収集 ⑥避難情報の収集	⑥ライフライン供給状況の収集 ⑥避難情報の収集	⑥ライフライン供給状況の収集 ⑥避難情報の収集	⑥ライフライン供給状況の収集 ⑥避難情報の収集	⑥ライフライン供給状況の収集 ⑥避難情報の収集	⑥ ⑥
4				伝達・広報	伝達・広報	⑥洪水予報氾濫警戒情報(避難判断水位)	⑥洪水予報氾濫警戒情報(避難判断水位)	⑥洪水予報氾濫警戒情報(避難判断水位)	⑥洪水予報氾濫警戒情報(避難判断水位)	⑥洪水予報氾濫警戒情報(避難判断水位)	⑥

①◎となっている行動項目

②行動目的ごとに抽出

- 【分類(行動目的) ※次ページ参照】
- ①：組織体制
 - ②：配備及び動員
 - ③：情報収集伝達
 - ④：災害広報・広聴
 - ⑤：避難支援
 - ⑥：避難所開設・運営
 - ⑦：消防等活動(救助)
 - ⑧：水防活動
 - ⑨：交通確保対策
 - ⑩：要配慮者支援
 - ⑪：電力施設応急対策
 - ⑫：水道施設応急対策
 - ⑬：下水道施設応急対策
 - ⑭：電信電話施設等応急対策

簡易版タイムラインの作成について

- 簡易版タイムラインは、一番左の列に、使用する機関の行動を整理し、横並びで他機関の行動を確認することに活用できるような形式で検討しております。
- A3サイズまたはA2サイズで4枚の構成を想定しております。
- ※簡易版タイムラインは、作成例を別添資料として添付しております（江津市 総務課を例に作成）。

江の川（下流）水害タイムライン（簡易版）									
TLレベル	タイムラインレベル移行のトリガー	警戒レベル移行の参考情報	分類	江津市_総務課	自衛隊 出雲駐屯地	江津邑智消防組合消防本部	江津邑智消防組合江津消防署	江津邑智消防組合川本消防署	島根県
TLレベル3	台風情報、翌日までの早期注意情報(警報級(大雨)の可能性)	目標:早期避難(外水)洪水警報、洪水警報の危険度分布(警戒)	タイムライン運用						
			組織体制	①リエゾン体制の確認 ①機関内防災体制の確認	①リエゾン体制の確認 ①機関内防災体制の確認	①リエゾン体制の確認 ①機関内防災体制の確認	①リエゾン体制の確認 ①機関内防災体制の確認	①リエゾン体制の確認 ①機関内防災体制の確認	①リエゾン体制の確認 ①機関内防災体制の確認
			情報収集・伝達・広報	③気象・台風情報の収集 ③気象注意報・警報の収集 ③雨量・水位情報の収集 ③道路交通情報の収集 ③被害状況の確認 ③ライフライン供給状況の収集 ③【元】避難情報の収集 ③ホットライン	③気象注意報・警報の収集 ③雨量・水位情報の収集 ③道路交通情報の収集 ③被害状況の確認 ③ライフライン供給状況の収集 ③避難情報の収集	③気象・台風情報の収集 ③気象注意報・警報の収集 ③雨量・水位情報の収集 ③道路交通情報の収集 ③被害状況の確認 ③ライフライン供給状況の収集 ③避難情報の収集	③気象・台風情報の収集 ③気象注意報・警報の収集 ③雨量・水位情報の収集 ③道路交通情報の収集 ③被害状況の確認 ③ライフライン供給状況の収集 ③避難情報の収集	③気象・台風情報の収集 ③気象注意報・警報の収集 ③雨量・水位情報の収集 ③道路交通情報の収集 ③被害状況の確認 ③ライフライン供給状況の収集 ③避難情報の収集	③気象・台風情報の収集 ③気象注意報・警報の収集 ③雨量・水位情報の収集 ③道路交通情報の収集 ③被害状況の確認 ③ライフライン供給状況の収集 ③避難情報の収集
			避難支援	⑤避難開始(外水氾濫エリア) ⑤避難準備・高齢者等避難開始の発令 ⑤住民への注意喚起 ⑤避難支援・誘導の実施 ⑤避難所運営 ⑤食料・飲料水および生活必需品確保・供給体制の整備 ⑤浸水想定区域内の避難所における二次避難対応	⑤住民への注意喚起 ⑤避難支援・誘導の実施				
消防等活動(救助)・水防活動	⑦要配慮者の避難支援 ⑦孤立者への対応	⑦救助活動	⑦救助活動						

機関毎に作成
(例として江津市版を表示)

他の機関が大まかに
どのような行動を実施しているのか横並びで確認可能

	国・県・市町	救助・インフラ・報道
レベル0 (3日前)		レベル0 (3日前)
レベル0 (2日前)		レベル0 (2日前)
レベル1		レベル1
レベル2		レベル2
レベル3		レベル3
レベル4		レベル4
レベル5		レベル5
レベル5以降		レベル5以降

A3またはA2サイズで4枚構成を想定

簡易版タイムラインの作成について

- 市町の地域防災計画の項目を基に、第1階層を以下の14項目に整合し、簡易版タイムラインの分類として整理した。

江の川(下流)・高津川水害 タイムライン第1階層	簡易版タイムラインの分類
2.体制の構築、(1.タイムライン内部会議)	①組織体制
25.従業員の安全確保	②配備及び動員
3.情報の収集、5.被害想定、26.他機関連携	③情報収集伝達
6.記者発表、24.報道対応	④災害広報・広聴
4.避難情報の発令、20.住民支援、17.学校の休校対応、 18.学童の休校対応	⑤避難支援
19.避難所の開設	⑥避難所開設・運営
20.住民支援	⑦消防等活動(救助)
7.点検・巡視、8.施設対応、9.災害対策用資機材、10. 浸水対策・水防活動、11.緊急対応	⑧水防活動
12.交通規制、15.鉄道の運休対応、16.バスの運休対応	⑨交通確保対策
21.要配慮施設支援、22.要配慮者施設対応、23.医療 機関支援	⑩要配慮者支援
13.停電の対応、14.ライフライン供給停止の対応	⑪電力施設応急対策
14.ライフライン供給停止の対応	⑫電信電話施設等応急対策
14.ライフライン供給停止の対応	⑬水道施設応急対策
14.ライフライン供給停止の対応	⑭下水道施設応急対策

3. 今後の予定

R2.11/16 (月)
~11/27 (金)

アンケート調査



タイムライン見直し方針の検討



R3.1月

令和2年度 第1回検討会 (書面)



見直し方針に対する意見照会



R3.2月

令和2年度 第2回検討会 (書面)



タイムライン見直し案に対する意見照会



令和2年度タイムライン修正案の完成